

2026年6月5日

各位

会社名 石井食品株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 石井 智康
(コード番号 2894 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員コーポレート部経理グループ
マネージャー 村上 樹生
(TEL 047-774-8748)

(訂正・数値データ訂正)

「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2026年5月14日に公表いたしました「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由及び内容

「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後、当社の連結財務諸表の作成過程において、収益の計上区分や引当金計上などに誤りがあることが判明したため、提出済みの決算短信を訂正するものであります。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には____を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 石井食品株式会社
 コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート部長グループマネージャー (氏名) 村上 樹生 TEL 047(774)8748
 定時株主総会開催予定日 2026年6月29日 配当支払開始予定日 2026年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	10,979	1.0	6	△97.6	4	△98.5	△124	△143.3
2025年3月期	10,869	3.6	267	△35.3	309	△32.2	287	△38.9

(注) 包括利益 2026年3月期 34百万円 (△93.1%) 2025年3月期 505百万円 (△22.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△7.50	—	△3.3	0.1	0.1
2025年3月期	17.27	—	7.9	3.9	2.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	8,200	3,819	46.6	229.47
2025年3月期	7,657	3,851	50.3	231.38

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,819百万円 2025年3月期 3,851百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	683	△346	△87	2,062
2025年3月期	117	△665	△97	1,812

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	66	23.2	1.8
2026年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	66	△53.4	1.7
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00		95.1	

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,199	2.0	150	—	155	—	70	—	4.21

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：有
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	18,392,000株	2025年3月期	18,392,000株
2026年3月期	1,745,281株	2025年3月期	1,745,203株
2026年3月期	16,646,725株	2025年3月期	16,665,438株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	10,769	1.0	23	△91.1	30	△90.2	△98	△134.0
2025年3月期	10,662	3.2	264	△34.7	310	△29.9	288	△36.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△5.90	—
2025年3月期	17.33	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	8,165	3,753	46.0	225.46
2025年3月期	7,611	3,713	48.8	223.07

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,753百万円 2025年3月期 3,713百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来の記述等に関するご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2026年5月14日にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

(<https://www.ishiifood.co.jp>)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復の動きが見られました。しかしながら、資源・エネルギー価格の高騰等ともなう物価高により生活コスト全般が上昇し、これを背景に消費者の節約・低価格志向が継続しており、依然として厳しい事業環境状況が続いております。

このような環境の中、当社では中期経営計画（2022年度-2026年度）において、ISHII VISION2030「農と食卓をつなぎ、子育てを応援する企業に」を掲げ、「子育て」をはじめとする様々なお客様の生活シーンを支え、ライフスタイル変革につながる食サービスの最大化と着実な実行に向けた取り組みを推進しております。

主力の食肉加工品につきましては、2025年3月に実施した価格改定後もお弁当における定番商品として根強く売上高は堅調に推移いたしました。お弁当ニーズだけでなく、常温品のラインナップにつきましてもローリングストックやお子様とのお出かけ、アウトドアなど様々な場面で対応できる商品として訴求した結果、幅広い業態で取扱いただき、本格導入2年目も順調に売上高は伸長いたしました。

惣菜カテゴリにつきましては、全体では売上高は微減でしたが、各地の栗を使った栗ごはんの素シリーズについては前年の不作から収量が回復したことに加え、長引く残暑に対応して販売時期を例年の9月から10月に後ろ倒したことにより、お客様の季節感に合わせたことで売上高は増加いたしました。

地域商品につきましては、従来のハンバーグシリーズに加え、「三浦大根を使った和風カレー」や「大阪能勢町山椒使用 山椒の肉団子」などを新たに発売いたしました。一部商品で不作により販売数が減ったことが影響し、売上高は減少いたしました。本カテゴリは「地域と旬」ブランドとして今後も象徴的な取組みであることから、「産地を食卓へ」というメッセージとともに商品の販売時期を四季で表す意匠を付しパッケージをリニューアルしております。

正月料理につきましては、個食ニーズに対応しかつ取分け時に衛生的な一人用お重、特定原材料8品目不使用の食物アレルギーに配慮したおせち、食塩不使用のおせちなど、特定のニーズに対応した商品を中心に売上高が増加いたしました。また、通販カテゴリではコアファンを対象に工場見学や試食会を実施した結果、新規受注及びリピーターの増加に繋がりました。

コスト面につきましては、玉ねぎが夏場の猛暑で凶作となるなど、原材料は高騰基調が続いております。このような状況下において、残業時間の削減および省エネルギー施策を実施いたしました。また、当第4四半期連結会計期間において、安全性確保や労働環境整備に向け各工場の修繕を集中して実施したほか、保有する工場の解体計画が具体化したこと等を受けて、資産除去債務における見積りを変更し減価償却費を追加計上いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は前年同期比1億10百万円増の109億79百万円となり、売上総利益は資産除去債務の見積りを変更したため、前年同期比65百万円減の35億62百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期比1億96百万円増の35億56百万円となり、6百万円の営業利益（前年同期比2億61百万円減）となりました。

これに営業外収益20百万円、営業外費用22百万円を加減した結果、4百万円の経常利益（前年同期比3億5百万円減）となり、特別利益に補助金収入等3百万円、特別損失に減損損失等98百万円を計上した結果、税金等調整前当期純損失は90百万円（前年同期比4億51百万円減）となりました。これに法人税等合計34百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は1億24百万円（前年同期比4億12百万円減）となりました。

製品別及びチャネル別業績の概況は、次のとおりであります。

(単位：千円)

製品別売上高	前連結会計年度 (2024. 4. 1～2025. 3. 31)		当連結会計年度 (2025. 4. 1～2026. 3. 31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年 同期比
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	9,429,489	86.7	9,523,184	86.7	93,694	101.0
惣菜	502,159	4.6	489,363	4.5	△12,795	97.5
地域商品	368,798	3.4	346,944	3.2	△21,854	94.1
正月料理	253,657	2.3	274,314	2.5	20,656	108.1
非常食	215,036	2.0	189,324	1.7	△25,712	88.0
配慮食 (食物アレルギー・減塩他)	49,544	0.5	54,943	0.5	5,398	110.9
その他※	50,969	0.5	101,728	0.9	50,759	199.6
合計	10,869,656	100.0	10,979,803	100.0	110,146	101.0

(単位：千円)

チャネル別売上高	前連結会計年度 (2024. 4. 1～2025. 3. 31)		当連結会計年度 (2025. 4. 1～2026. 3. 31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年 同期比
量販店（スーパーマーケット他）	8,811,624	81.1	8,814,841	80.3	3,217	100.0
質販店（百貨店他）・生協	1,054,709	9.7	1,065,858	9.7	11,149	101.1
飲食店・宅配・官公庁	523,352	4.8	559,437	5.1	36,085	106.9
直販	479,969	4.4	502,313	4.6	22,343	104.7
その他※	—	0.0	37,351	0.3	37,351	—
合計	10,869,656	100.0	10,979,803	100.0	110,146	101.0

※当連結会計年度より、廃油売却益等を新たに「その他」として売上高に含めております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末の38億62百万円に対し、1億4百万円増の39億66百万円（前年同期比2.7%増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加、売掛金の増加、その他流動資産の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末の37億94百万円に対し、4億38百万円増の42億33百万円（前年同期比11.6%増）となりました。主な要因は、投資有価証券の増加、機械装置及び運搬具の増加、建設仮勘定の増加であります。

この結果、総資産は前連結会計年度末の76億57百万円に対し、5億43百万円増の82億円（前年同期比7.1%増）となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末の31億91百万円に対し、3億70百万円増の35億61百万円（前年同期比11.6%増）となりました。主な要因は、その他流動負債の増加、未払費用の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末の6億14百万円に対し、2億4百万円増の8億18百万円（前年同期比33.3%増）となりました。主な要因は、資産除去債務の増加であります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末の38億5百万円に対し、5億74百万円増の43億80百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末の38億51百万円に対し、31百万円減の38億19百万円（前年同期比0.8%減）となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加及び利益剰余金の減少であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加し、20億62百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動により増加した資金は6億83百万円（前年同期は1億17百万円の増加）となりました。主な要因は、減価償却費の計上、その他負債の増加、減損損失の計上であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動により減少した資金は3億46百万円（前年同期は6億65百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出、定期預金の払戻による収入であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動により減少した資金は87百万円（前年同期は97百万円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払額であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、賃上げによる所得環境の一層の改善が期待されるものの、継続的な物価上昇に加えて、不安定な国際情勢も受けて経済状況は不透明であり、予断を許さない経営環境となっております。

売上高につきましては、111億99百万円を見込んでおります。商品別では、ミートボール、チキンハンバーグ及びとりそばの主力商品についてさらなるリピーター獲得に向けた販売施策を行ってまいります。また、常温商品につきましても、日常使いからローリングストックまで幅広い用途で利用できる強みを活かして様々なチャネルでの販売促進を実施いたします。営業プロセスにおいてはDX化を進め、効率改善も図ってまいります。

コスト面につきましては、物価上昇に伴う製造コストの高止まりや中東情勢の長期化に伴う原材料の安定調達への対応を最優先とするため、一部費目での増加を見込んでおります。他方、さらなる省人化に向けた生産設備投資や新規事業開発、「地域と旬」認知拡大に向けたブランディングなど将来の成長に向けた投資も継続して進めてまいります。

以上を踏まえ、2027年3月期は営業利益1億50百万円、経常利益1億55百万円、親会社株主に帰属する当期純利益70百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想等に著しい変動が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,912,391	2,064,164
売掛金	1,464,537	1,513,518
商品及び製品	142,941	102,106
仕掛品	5,404	4,664
原材料及び貯蔵品	216,275	214,888
その他	120,943	67,341
流動資産合計	3,862,495	3,966,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,836,557	8,996,362
減価償却累計額	△8,318,386	△8,463,467
建物及び構築物（純額）	518,171	532,894
機械装置及び運搬具	6,999,375	7,244,677
減価償却累計額	△6,105,668	△6,208,362
機械装置及び運搬具（純額）	893,707	1,036,315
工具、器具及び備品	437,192	441,692
減価償却累計額	△401,210	△408,760
工具、器具及び備品（純額）	35,982	32,932
土地	809,029	809,029
リース資産	217,124	110,896
減価償却累計額	△132,784	△41,012
リース資産（純額）	84,339	69,883
建設仮勘定	64,999	133,300
有形固定資産合計	2,406,229	2,614,355
無形固定資産	476,370	415,665
投資その他の資産		
投資有価証券	777,918	1,070,078
その他	179,190	172,423
貸倒引当金	△45,200	△39,200
投資その他の資産合計	911,909	1,203,301
固定資産合計	3,794,509	4,233,323
資産合計	7,657,004	8,200,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,926	313,679
短期借入金	1,900,000	1,900,000
未払費用	649,703	793,917
未払法人税等	27,703	26,686
未払消費税等	58,444	38,929
契約負債	—	7,133
賞与引当金	93,191	110,630
株主優待引当金	—	14,713
その他	148,077	355,369
流動負債合計	3,191,047	3,561,060
固定負債		
繰延税金負債	22,871	116,344
退職給付に係る負債	495,736	493,007
資産除去債務	22,740	149,292
その他	72,941	60,305
固定負債合計	614,289	818,950
負債合計	3,805,336	4,380,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,255,314	2,063,947
自己株式	△376,102	△376,125
株主資本合計	3,471,613	3,280,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264,812	469,448
退職給付に係る調整累計額	115,242	70,323
その他の包括利益累計額合計	380,054	539,772
純資産合計	3,851,667	3,819,995
負債純資産合計	7,657,004	8,200,006

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	10,869,656	10,979,803
売上原価	7,242,019	7,417,341
売上総利益	3,627,636	3,562,461
販売費及び一般管理費	3,359,878	3,556,101
営業利益	267,758	6,360
営業外収益		
受取利息	570	1,447
受取配当金	20,493	9,845
受取賃貸料	5,090	4,564
廃油売却益	24,573	—
助成金収入	2,230	—
その他	8,880	4,736
営業外収益合計	61,838	20,594
営業外費用		
支払利息	14,205	20,515
棚卸資産廃棄損	5,481	—
その他	72	1,828
営業外費用合計	19,758	22,343
経常利益	309,838	4,611
特別利益		
固定資産売却益	23,036	145
補助金収入	50,000	3,633
受取和解金	4,230	—
特別利益合計	77,266	3,778
特別損失		
固定資産処分損	2,374	5,037
減損損失	23,428	83,416
投資有価証券評価損	—	10,000
特別損失合計	25,802	98,454
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	361,302	△90,064
法人税、住民税及び事業税	50,172	34,735
法人税等調整額	23,248	△19
法人税等合計	73,421	34,715
当期純利益又は当期純損失(△)	287,881	△124,779
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	287,881	△124,779

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	287,881	<u>△124,779</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,943	204,636
退職給付に係る調整額	179,808	<u>△44,918</u>
その他の包括利益合計	<u>217,751</u>	<u>159,717</u>
包括利益	<u>505,633</u>	<u>34,938</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	505,633	<u>34,938</u>
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	919,600	672,801	2,034,140	△367,007	3,259,535
当期変動額					
剰余金の配当			△66,708		△66,708
親会社株主に帰属する 当期純利益			287,881		287,881
自己株式の取得				△9,095	△9,095
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	221,173	△9,095	212,078
当期末残高	919,600	672,801	2,255,314	△376,102	3,471,613

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	226,868	△64,566	162,302	3,421,837
当期変動額				
剰余金の配当				△66,708
親会社株主に帰属する 当期純利益				287,881
自己株式の取得				△9,095
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	37,943	179,808	217,751	217,751
当期変動額合計	37,943	179,808	217,751	429,830
当期末残高	264,812	115,242	380,054	3,851,667

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	919,600	672,801	2,255,314	△376,102	3,471,613
当期変動額					
剰余金の配当			△66,587		△66,587
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△124,779		△124,779
自己株式の取得				△23	△23
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△191,366	△23	△191,390
当期末残高	919,600	672,801	2,063,947	△376,125	3,280,223

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	264,812	115,242	380,054	3,851,667
当期変動額				
剰余金の配当				△66,587
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△124,779
自己株式の取得				△23
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	204,636	△44,918	159,717	159,717
当期変動額合計	204,636	△44,918	159,717	△31,672
当期末残高	469,448	70,323	539,772	3,819,995

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	361,302	<u>△90,064</u>
減価償却費	389,356	<u>531,227</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,772	17,439
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	<u>14,713</u>
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	61,686	△47,647
契約負債の増減額(△は減少)	—	7,133
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10,000
受取利息及び受取配当金	△21,064	△11,292
支払利息	14,205	20,515
助成金収入	△2,230	—
補助金収入	△50,000	△3,633
受取和解金	△4,230	—
固定資産売却損益(△は益)	△23,036	△145
固定資産処分損益(△は益)	2,374	5,037
減損損失	23,428	83,416
売上債権の増減額(△は増加)	258,972	△48,980
棚卸資産の増減額(△は増加)	△105,911	<u>42,962</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	△316,208	△246
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△2,636	1,064
未払又は未収消費税等の増減額	43,773	1,907
その他	△416,283	<u>181,904</u>
小計	200,726	<u>715,311</u>
利息及び配当金の受取額	17,794	23,401
利息の支払額	△14,205	△20,515
助成金の受取額	2,230	—
和解金の受取額	4,230	—
法人税等の還付額	—	4,114
法人税等の支払額	△93,208	△38,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,567	<u>683,933</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△11,953	△4,029
有形固定資産の売却による収入	23,036	—
有形固定資産の取得による支出	△575,211	△417,148
無形固定資産の取得による支出	△103,049	△77,439
定期預金の払戻による収入	—	100,000
補助金の受取額	—	53,633
その他	1,338	<u>△1,119</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△665,839	<u>△346,103</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,900,000	1,900,000
短期借入金の返済による支出	△1,900,000	△1,900,000
自己株式の取得による支出	△9,095	△23
配当金の支払額	△66,708	△66,587
その他	△21,848	<u>△20,810</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,651	△87,421
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△645,922	<u>250,408</u>
現金及び現金同等物の期首残高	2,458,313	1,812,391
現金及び現金同等物の期末残高	1,812,391	<u>2,062,799</u>

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	食肉加工品	その他	合計
外部顧客への売上高	9,429,489	1,440,166	10,869,656

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	食肉加工品	その他	合計
外部顧客への売上高	9,523,184	<u>1,456,618</u>	<u>10,979,803</u>

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	231.38円	<u>229.47円</u>
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	17.27円	<u>△7.50円</u>

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	287,881	<u>△124,779</u>
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	287,881	<u>△124,779</u>
普通株式の期中平均株式数 (株)	16,665,438	<u>16,646,725</u>

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産額の部の合計額 (千円)	3,851,667	<u>3,819,995</u>
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,851,667	<u>3,819,995</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株)	16,646,797	16,646,719

(会計上の見積りの変更)

当連結会計年度において、保有する工場の解体計画が具現化したことにより、法令等で要求される撤去費用として計上していた資産除去債務について、当事業年度において見積りを変更いたしました。これにより、資産除去債務を追加で126,528千円計上しております。なお、当該見積りの変更により、当連結会計年度において、売上原価が114,088千円増加し、売上総利益・営業利益・経常利益が114,088千円減少しており、税金等調整前当期純損失が114,088千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。